

「神の招きを拒む理由(いいわけ)」

ルカの福音書14章15～24節

1

イエスとともに食卓に着いていた客の一人はこれを聞いて、イエスに言った。「神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう。」するとイエスは彼にこう言われた。「ある人が盛大な宴会を催し、大勢の人を招いた。宴会の時刻になったのでしもべを遣わし、招いていた人たちに、『さあ、おいでください。もう用意ができましたから』と言った。ところが、みな同じように断り始めた。最初の人はこちら言った。『畑を買ったので、見に行かなければなりません。どうか、ご容赦ください。』別の人はこう言った。『五くびきの牛を買ったので、それを試しに行くところです。どうか、ご容赦ください。』また、別の人はこう言った。『結婚したので、行くことができません。』 ルカ14:15-20

2

しもべは帰って来て、このことを主人に報告した。すると、家の主人は怒って、そのしもべに言った。『急いで町の大通りや路地に出て行って、貧しい人たち、からだの不自由な人たち、目の見えない人たち、足の不自由な人たちをここに連れて来なさい。』しもべは言った。『ご主人様、お命じになったとおりにいたしました。でも、まだ席があります。』すると主人はしもべに言った。『街道や垣根のところに出行き、無理にでも人々を連れて来て、私の家をいっぱいしなさい。言うておくが、あの招待されていた人たちの中で、私の食事を味わう者は一人もいません。』 ルカ14:21-24

3

神の国の幸い

- 「神の国で食事をする」=「神の国に入ること」=「永遠の命を受け継ぐこと」=神によって救われること。(14:14、18:18、14-26)
- 「神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子らを起こすことができるのです。」 ルカ3:8
- 人間の高ぶりは、この世を「自国」(じこく)にした。
- 「自国」=自分勝手な国、自分中心の国

4

讚美歌90 ここも神の御国

- 1. ここも神(かみ)の 御国(みくに)になれば、天地(あめつち)御歌(みうた)を 歌(うた)いかわし、岩(いわ)に木々(きぎ)に 空(そら)に海(うみ)にたえなる御業(みわざ)を あらわれたる。
- 2. ここも神(かみ)の 御国(みくに)になれば、鳥(とり)の音(ね)、花(はな)の香(か) 主(ま)をばたえ、あさ日(あさひ) 月(つき) 栄(は)えにはえて、そよ吹(ふ)く 風(かぜ)を 神(かみ)を語(かた)る。
- 3. ここも神(かみ)の 御国(みくに)になれば、よこしま 暫(しば)しは 時(とき)を得(う)とも、主(ま)のみむねの ややに成(な)りて、天地(あめつち)ついに 一つとならん。

5

神の国の幸い

- 「わたしは愛する者をみな、叱つたり懲らしめたりする。だから熱心になって悔い改めなさい。見よわたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」 黙示3:19-20
- 神は強制しない。
- 「天国よいとこ、一度はおいで、酒はうまいし、ねーちゃんはきれいだ。」
- 「天はわたしの王座、地はわたしの足台」である
イザヤ66:1

6

神の国の幸い

- 「御国が来ますように。御心が天で行われるように、地でも行われますように。」主の祈り
- 自分を含むこの世の天国化！（国有化）
- ルカ13:30「後の者が先になり、先の者が後になる。」
- ルカ14:11「自分を高くする者は低くされる。低くする者は高くされる。」
- 「主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。」ルカ1:51-53

7

4つの土地のたとえ

- 「茨の中に落ちたものとは、こういう人たちのことです。彼らはみことばを聞いたのですが、時がたつにつれ、生活における思い煩いや、富や、快樂でふさがれて、実が熟すまでになりません。」ルカ8:14
- このたとえの意味はこうです。種は神のことばです。道端に落ちたものとは、みことばを聞いても信じて救われないように、後で悪魔が来て、その心からみことばを取り去ってしまう、そのような人たちのことです。岩の上に落ちたものとは、みことばを聞くとき喜んで受け入れるのですが、根がないので、しばらくは信じていても試練のときに身を引いてしまう、そのような人たちのことです。ルカ8:11-13

8

4つの土地のたとえ

- しかし、良い地に落ちたものとは、こういう人たちのことです。彼らは立派な良い心でみことばを聞いて、それをしっかりと守り、忍耐して実を結びます。ルカ8:15
- イエスは目を上げて弟子たちを見つめながら、話し始められた。「貧しい人たちは幸いです。神の国はあなたがたのものだからです。今飢えている人たちは幸いです。あなたがたは満ち足りるようになるからです。今泣いている人たちは幸いです。あなたがたは笑うようになるからです。しかし、富んでいるあなたがたは哀れです。あなたがたは慰めをすでに受けているからです。今満腹しているあなたがたは哀れです。あなたがたは飢えるようになるからです。今笑っているあなたがたは哀れです。あなたがたは泣き悲しむようになるからです。人々がみな、あなたがたをほめるとき、あなたがたは哀れです。彼らの先祖たちも、偽預言者たちに同じことをしたのです。ルカ6:20-21、24-26

9

すべての人は神に招かれている

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。わたしのくびきは負いやしく、わたしの荷は軽いからです。

マタイ11:28-30

10

すべての人は神に招かれている

- あなたがたの宝のあるところ、そこにあなたがたの心もあるのです。ルカ12:34
- というのは、私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの方がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える者たちです。ヒリビ3:18-19

11

すべての人は神に招かれている

- 結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。伝道者12:13
- まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。マタイ6:33
- 神はすべて！神は命！神は宝！神は最高！
- 神を神としないと、人は人になれない、自分になれない。
- 神の招きを受け入れ、神と一緒に生きる！

12